



第8回

世界盆栽大会 in **さいたま**

The 8th WORLD BONSAI CONVENTION,
SAITAMA CITY

《報道資料》

2016年9月2日

第8回世界盆栽大会 in さいたま実行委員会
[事務局] 一般社団法人 日本盆栽協会

『世界盆栽大会』

盆栽は、時間・空間と山水の景を表現し、自然にある姿以上の美しさを求めていく日本の伝統的な芸術であり、そこには四季の移り変わりに対する豊かな感性と生命に対する心の優しさや美的感覚が凝縮されています。

1989年4月、「盆栽の心で築く世界の平和」をスローガンに掲げた第一回世界盆栽大会が開催されました。当時、欧米では盛んに国際的な盆栽イベントが開催されていましたが、東洋で大規模な国際イベントが開催されたのは、これが初めてでした。

盆栽の故郷とも呼ぶべき日本での開催、しかも大宮盆栽村を擁する埼玉県大宮市（現・さいたま市）での開催とあって、世界中からの注目を集め、大会登録者 数は日本国内から504名、海外からは31か国から733名、あわせて1237名という大規模な盆栽大会となりました。

その後の世界盆栽大会は、アフリカ、オーストラリア・ニュージーランド、中国（台湾を含む。）、ヨーロッパ、インド、日本、アジア太平洋地域、ラテンアメリカ、北米（カナダ・米国）の9地域の理事によって運営されています。大会は4年に一度この9地域の中から開催地を選定して開催され、盆栽文化の普及促進と国際交流に大きな役割を果たしてきました。



メイン会場となった大宮ソニックシティ



蝦夷松の寄せ植えを
創作する加藤三郎氏



竹山浩氏による
デモンストレーション



春の盆栽村を楽しむ参加者たち

『第8回世界盆栽大会』開催趣旨

世界盆栽大会は盆栽を通じて世界の盆栽愛好家が集い、親善を深めるとともに、盆栽文化の普及と技術向上、国際間の親善・交流を目的として開催されます。

2017年の第8回世界盆栽大会が、第1回目の開催地である日本、さいたま市で開催できることは、日本の盆栽界にとっても非常に大きな意義があります。28年という歳月を経て変わったもの、変わらないものを見つめ直し、先代から受け継がれた伝統を次世代に受け継いでゆくとともに、現代の生活文化に即し、世代を超えて愛される“盆栽”を発見するまたとない機会となります。

第8回世界盆栽大会は、世界のトップブランドである「日本盆栽」に対する世界での評価を強固にするとともに、人的交流の促進や盆栽育成技術の普及、国内外の関連産業の活性化、また、盆栽を核とした観光コンテンツの開発など、多様な波及効果が期待されています。

「日本盆栽」の価値を再認識し、“盆栽”の魅力を発信

世界の“BONSAIインフルエンサー”の醸成

国際会議観光都市“さいたま市”のアピール

第8回世界盆栽大会 in さいたま名誉総裁に

秋篠宮殿下がご就任

来年4月に開催される第8回世界盆栽大会 in さいたまの名誉総裁には、秋篠宮殿下にご就任いただくことが決まりました。

世界盆栽大会実行委員会では、本大会の名誉総裁に秋篠宮殿下にご就任いただけるよう、加藤初治実行委員長、福田次郎協会理事長から大会の趣旨や開催の意義などをご説明し、お願いをしまいりましたところ、宮内庁より正式にご承諾をいただきました。

【大会名称】

第8回世界盆栽大会inさいたま

The 8th WORLD BONSAI CONVENTION, SAITAMA CITY

【会期】

2017年4月27日(木)～4月30日(日) [4日間]

【会場】

【メイン会場】

①さいたまスーパーアリーナ

世界最大級の可動システムによる、音楽・スポーツ・産業・文化などのイベントが開催される施設。2020年東京オリンピック会場ではバスケットボールの会場になります。

②大宮ソニックシティ・パレスホテル大宮

1989年、第1回世界盆栽大会の会場にもなった2,500名を収容する大ホール、展示場を含む地上31階の高層ビル、都市型ホテルを含む複合型コンベンション施設。

【サブ会場】

①武蔵一宮氷川神社

2,000年以上の歴史を持つと言われ、大いなる宮居として大宮の地名の由来にもなった日本でも指折りの古社。

②さいたま市大宮盆栽美術館

さいたま市の盆栽文化振興の核となる施設として、さらに「大宮盆栽村」観光の拠点施設として、世界に誇る盆栽の名品や盆栽に関わる美術品、歴史・民俗資料等を展示。

③大宮盆栽村

関東大震災（1923年）で大きな被害を受けた東京の盆栽業者が、盆栽育成の理想郷を求めて設立した世界の盆栽ファンに愛されている街。

【テーマ】

盆栽、～次の100年へ～

「Bonsai, ～ Towards the Next 100 Years～」

1989年の第1回世界盆栽大会から28年。

世界盆栽大会発祥の地・さいたま市から新たなスタートを切り、伝統の盆栽を受け継ぐと共に、世代を超えて愛される盆栽の可能性を、世界に向けて発信します。

【キーヴィジュアル／ロゴ】



第8回 **世界盆栽大会** in さいたま

The 8th WORLD BONSAI CONVENTION, SAITAMA CITY

【主な催事】

1) 大会催事：国内外の盆栽愛好家が参加する事業

・国内外の著名盆栽作家によるデモンストレーションや懇親会、日本文化体験など。

2) 一般催事：日本の盆栽水石至宝展

・日本全国より名品盆栽約300点以上を集めた世界最大規模の展示会

【主催】

第8回世界盆栽大会 in さいたま実行委員会 [事務局] 一般社団法人 日本盆栽協会
(The 8th World Bonsai Convention, SAITAMA Executive Committee)

【構成】

世界盆栽友好連盟	(一社)日本盆栽協会	大宮盆栽協同組合
(一社)日本皐月協会	(公社)全日本小品盆栽協会	日本水石協会
日本盆栽協同組合	日本皐月協同組合	日本小品盆栽組合
日本水石組合	(独)日本貿易振興機構 (JETRO)	(独)国際観光振興機構
さいたま商工会議所	(公社)さいたま観光国際協会	東日本旅客鉄道(株)大宮支社
東武鉄道(株)		

【大会役員】

名誉総裁	秋篠宮殿下
名誉会長	河野 洋平 (日本盆栽協会会長)
名誉実行委員長	清水 勇人 (さいたま市長)
名誉顧問	上田 清司 (埼玉県知事)
大会会長	福田 次郎 (世界盆栽友好連盟会長、日本盆栽協会理事長)

【共催】

さいたま市

【後援】 ※申請中を含む

農林水産省 経済産業省 外務省 文化庁 国土交通省観光庁 埼玉県
NHK テレビ埼玉 埼玉新聞

【目標来場者数】

世界盆栽大会登録者：1,200人 (日本を含む世界各国の盆栽愛好家)
日本の盆栽水石至宝展入場者：20,000人

【会場配置】

市内広域で、ふれあいと交流の機会を創出

第8回世界盆栽大会は、国内外からの大会参加者とさいたま市民が交流し、親睦を深める大会とします。メイン会場である「さいたまスーパーアリーナ」と、世界大会参加者をおもてなしする「大宮ソニックシティ」に加え、「武蔵一宮氷川神社」、「大宮盆栽村」をサブ会場として市街地を広く結ぶことで、大会参加者と市民との間に多くのふれあいと交流の機会を創出します。



開催スケジュール（予定）



第8回 世界盆栽大会 in さいたま
The 8th WORLD BONSAI CONVENTION, SAITAMA CITY

大宮ソニックシティ パレスホテル大宮 さいたまスーパーアリーナ

2017年	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
4月27日 (木)	登録・インフォメーションデスク						●開会式	●記念デモン ストレーション			●歓迎レセプション (パーティー)		
	●盆栽シャトルバス (盆栽村、大宮盆栽美術館、氷川神社など)												
WBFF理事会													
4月28日 (金)	登録・インフォメーションデスク												
	●デモンストレーション												
	●盆栽シャトルバス (氷川神社、大宮盆栽美術館、盆栽村など)												
4月29日 (土)	●テーブルカット												
	●日本の盆栽水石至宝展												
	登録・インフォメーションデスク									●友好の夕べ			
	●デモンストレーション												
●日本文化体験													
●盆栽シャトルバス (氷川神社、大宮盆栽美術館、盆栽村など)													
●日本の盆栽水石至宝展													
4月30日 (日)	●デモンストレーション						グランドフィナーレ						
	●日本文化体験												
	●盆栽シャトルバス (氷川神社、大宮盆栽美術館、盆栽村など)												
	●日本の盆栽水石至宝展												

『第8回世界盆栽大会』として、国内外の盆栽愛好家を対象とし、有料登録することにより参加できるプログラムとなります。また、国内外より1200名程度の盆栽愛好家の登録を想定しています。

◎4月27日(木) 大宮ソニックシティ 大ホール

①開会式

開会宣言、主催、来賓の挨拶などのプログラムで、第1回世界盆栽大会が開かれた、さいたま市にふさわしい、格式と気品のある開会式とします。また、さいたま市のもつ文化、伝統芸能などによって、大会登録者のおもてなしを行います。

②記念デモンストレーション

日本の盆栽界を代表し、世界的に知られた盆栽作家である「木村正彦」による記念デモンストレーションを行います。



アジア太平洋盆栽水石高松大会2011



第7回世界盆栽大会2013（中国）



アジア太平洋盆栽水石高松大会2011

[記念デモンストレーター プロフィール]

木村 正彦 [MASAHIKO KIMURA]

日本盆栽協会 常任理事

世界各国でデモンストレーションを披露。卓越した技術と独創的なアイデアから『盆栽界の魔術師』とも呼ばれている。手掛けた作品には内閣総理大臣賞や国風賞などを受賞した盆栽が数多い。2006年、黄綬褒章受章、2007年、文化庁長官賞受賞。



◎4月27日(木)・29日(土) パレスホテル大宮

③歓迎レセプション／友好の夕べ

友好の夕べ第8回世界盆栽大会のさいたま市での開催を記念し、来賓、登録者を対象とした歓迎レセプションや友好の夕べを行います。さいたまの伝統芸能などのアトラクションでおもてなしします。



第7回世界盆栽大会：ウェルカムパーティー

◎4月28日(金)～30日(日)さいたまスーパーアリーナ

④デモンストレーション

登録者向けとして、日本を代表する盆栽指導者や海外でも活躍する盆栽師のデモンストレーションをさいたまスーパーアリーナ「TOIRO」や展示ホールで実施します。

[デモンストレーター]

竹山 浩 [HIROSHI TAKEYAMA] – 芙蓉園 –

世界盆栽友好連盟 日本地区理事

日本盆栽協会前理事長。雑木盆栽の第一人者として知られ、繊細な作風には定評がある。NHK「趣味の園芸」の講師を長く務めるなど、温和で優しい語り口に人気は高く、国内外での講習会の経験も豊富。2013年、旭日双光章受章。



小林 國雄 [KUNIO KOBAYASHI]

– 春花園 BONSAI美術館 –

日本水石協会 理事長

盆栽園を営むと同時に水石界のまとめ役も務める。海外からの要請に応じて精力的に渡航したり、海外から大勢の研修生を受け入れたり、国内ではメディアに積極的に出演したりするなど、盆栽の普及に尽力している。盆栽の受賞歴多数。



鈴木 伸二 [SHINJI SUZUKI]

日本盆栽協会 理事

日本盆栽協同組合、日本水石協会の理事を兼任する気鋭の作家。プロだけが出展することができる日本盆栽作風展で内閣総理大臣賞を歴代最高となる5回受賞している。海外でのデモンストレーション経験も豊富。



[その他 日本人デモンストレーター]

秋山 実 [MINORU AKIYAMA]



磯部 繁男 [SHIGEO ISOBE]



今井 千春 [CHIHARU IMAI]



漆畑 大雅 [TAIGA URUSHIBATA]



大島 健資 [KENJI OSHIMA]



大町 功 [ISAO OMACHI]



櫻井 峻 [TAKASHI SAKURAI]



藤川 政幸 [MASAYUKI FUJIKAWA]



松田 三男 [MITSUO MATSUDA]



【外国人デモンストレーター】

海外8地域より外国人盆栽作家を招聘し、コミュニティアリーナステージにおいて、デモンストレーションを行います。

<p>ヴェルナー ブッシュ [Werner M. Busch] (ヨーロッパ)</p> 	<p>ハンスフリッツ [Hannes Fritz] (アフリカ)</p> 	<p>ジョティ & ニクンジ パレク [Jyoti & Nikunj Parekh] (インド)</p> 
<p>趙 慶泉 [Zhao Qingquan] (中国)</p> 	<p>マイケル ショウ チーロン [Michael Siow Chee Long] (アジアパシフィック)</p> 	<p>リンゼー ベブ [Lindsay Bebb] (オーストラリア・ニュージージーランド)</p> 
<p>ビヨン ビヨホルム [Bjorn Bjorholm] (北米)</p> 	<p>ホワン アンドラーデ [Juan Andrade] (ラテンアメリカ)</p> 	

⑤ 日本文化体験

主に海外からの参加者へのおもてなしの行事として、日本文化を体験できるワークショップを実施。演目（予定）：着物着付け体験、日本人形絵付け体験うちわ絵付け体験、書道体験など



第8回 世界盆栽大会 in さいたま The 8th World Bonsai Convention, SAITAMACITY

日本の盆栽水石至宝展

日本の盆栽・水石の粋を一堂に集めた、世界最高峰の展示会

世界盆栽大会開催を記念し、多くの皆様に日本が誇る盆栽・水石の名品をご覧いただくために、さいたまスーパーアリーナ コミュニティアリーナで「日本の盆栽水石至宝展」を開催します。日本全国より300席を越す名品が出品され、世界最高峰・最大規模の盆栽の展示会となります。

《会 期》4月28日(金)~30日(日)

《会 場》さいたまスーパーアリーナ コミュニティアリーナ

《入場料》1000円(前売り800円)

2016年10月1日より各フレイカイト・コンビニエンスストアで販売開始!



①主催者特別企画

日本を代表する貴重盆栽や、大宮盆栽の名品、盆栽の歴史展示などを行います。

○皇居の盆栽特別展示(予定)

雄々しく、しかも荘重な気品に満ちたその佇まいの皇居の盆栽と盆器。その貴重な名品盆栽、盆器の数々を紹介します。

○企画展示

盆栽の文化と歴史と題し、盆栽の歴史や・伝統を紐解きながら、日本特有の文化・芸術として確立し、世界で愛されるようになったBONSAIをわかりやすく実物やパネル等で紹介します。

○世界の盆栽紀行(予定)

現在、世界中で愛されているBONSAIの姿を映像や写真等を使用し紹介するコーナーです。

②子ども盆栽の展示

盆栽の作製・育成を通して、世界に誇る伝統文化の「盆栽」に興味を持ち、理解を深める授業を行っている、さいたま市内11の小学校、約1,000名が作製している盆栽を一堂に展示します。

③売店

盆栽、植木、草花、書籍、道具など盆栽関連品や、地域ブランドや伝統工芸品の展示販売を行います。

④ステージイベント

日本のトップクラスの盆栽師や、世界8地域より招聘する盆栽師を講師としたデモンストレーションや地域交流ステージなど様々なプログラムを実施します。

お問い合わせ先

第8回世界盆栽大会 in さいたま実行委員会事務局
(一般社団法人日本盆栽協会内)

担当：田村／小林

〒110-0008 東京都台東区池之端2-8-1

電話番号：(03) 3821-3059

Eメール：info@world-bonsai-saitama.jp